



文化財新聞(最終回)

魅力再発見!



発行日 2023年9月1日
発行者 まなひあい中学校
新聞部

文化財新聞と題して、第1弾では古民家や文化財の保存継承の難しさを、第2弾では小牧・長久手の戦いと長久手古戦場の魅力を紹介しました。最終回では古戦場公園再整備事業を取り上げ、今後の文化財や歴史の継承に関する取り組みについて紹介します。

生涯学習課
☎56-0627

古戦場公園を歴史の聖地に! 後世に長久手の歴史を伝える

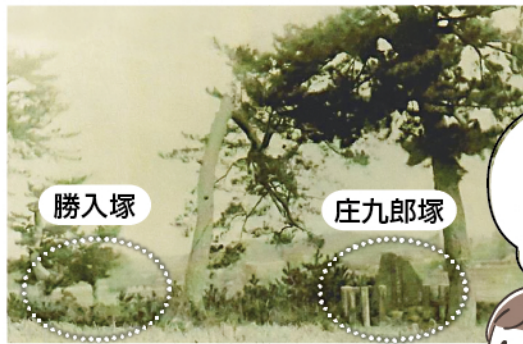
古戦場公園に新施設! 長久手の歴史丸わかりスポット

現在、長久手市は、古戦場公園再整備事業を進めていて、長久手市全体の歴史を展示する歴史民俗資料館(西側ゾーン)と、国指定史跡長久手古戦場および小牧・長久手の戦いを解説するガイダンス施設(東側ゾーン)を、2025年度末にオープンします。



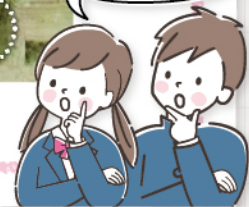
驚き発見!

長久手古戦場は、合戦当時の地形が残る点と尾張藩士や武将の子孫により1700年代に建立された碑が残る点が高く評価され、1939(昭和14)年に国指定史跡となりました。指定された当時の地形や眺めに戻すため、11月から古戦場公園の築山を造成する工事等が始まります。



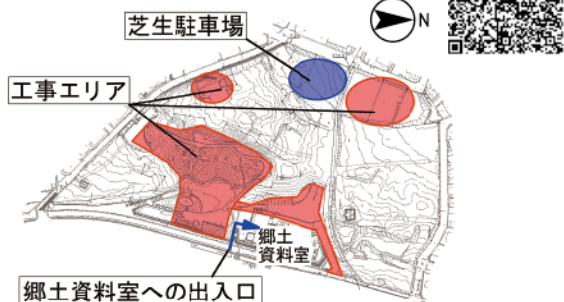
▲1910年の庄九郎塚周辺の写真(写真提供 浅井達夫さん)

今とは見晴らしが全然違うんだ!



11月から古戦場公園再整備工事が始まります

11月13日(月)から東側駐車場および西側砂利駐車場(赤色エリア)が使えなくなりますので、西側芝生駐車場(青色エリア)を利用してください。工事期間中、郷土資料室(2025年度閉館予定)、和弓場は利用できませんが、郷土資料室の出入口が南側に変更となります。最新情報は市HPへ。



国指定史跡長久手古戦場を知ろう! 東側ゾーン

東側ゾーンに整備するガイダンス施設では、国指定史跡長久手古戦場と小牧・長久手の戦いに関するガイダンスシアターや、鮮やかで迫力のある「長久手合戦図屏風(徳川美術館所蔵)」の復元模写作品、当時の貴重な資料などを展示します。



▲ガイダンス施設の完成イメージ



▲ガイダンス施設の展示イメージ

長久手合戦図屏風の復元模写について

インタビュー してきました!



愛知県立芸術大学
模写制作代表
藤田哲也さん

今回の模写制作では、原本と同素材を使用し、同技法で描き、合戦図成立当初の鮮やかな色彩を蘇らせる事を目的としています。そのため、当時の絵師が何を伝えたかったのか、歴史的背景を含め、原本から感じ取ることが、模写するうえで肝心な部分です。長久手の地形をそのまま屏風に仕立てたかのようなこの屏風は、実在する史跡と照らし合わせながら鑑賞する楽しさにあふれています。地域にお住まいの人ほど、ここで合戦があったのだという不思議な感覚を味わえるはずです。



▲模写復元作業の様子

「リニューアル」



©てづかともこ

長久手市の歴史を知ろう! 西側ゾーン

西側ゾーンには、長久手の古代から現代までの歴史を、「産業」「お祭り・芸能」「生活」の3つのテーマごとに展示解説する歴史民俗資料館を開館するとともに、市内最古級の古民家を移築整備します。歴史民俗資料館は、棒の手、警固祭り、お天王祭り、私たちのおじいさんやおばあさんが日常生活で使っていた道具など、長久手の歴史や民俗が全て分かるような展示としていきます。古民家は、長久手の昔ながらの生活体験等ができるよう整備するとともに、土間たたきや壁塗りなどの一部の移築作業を市民の手で行います。



▲西側ゾーンのイメージ



移築整備する古民家

古戦場公園再整備事業市民ワークショップ開催!

市民のみなさんと一緒に古民家の解体・移築工事の一部作業を行うためのワークショップを開催します。

時 9月16日(土) 10:00~ 場 文化の家1階 展示室 申 9月15日(金)までに生涯学習課窓口または電話で申込。